



平成19年7月12日

各 位

会 社 名 E・Jホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小谷 裕司  
(コード番号 2153 東証第2部)  
問合せ先 管理本部副本部長 浜野 正則  
(TEL. 086-252-7520)

## 連結子会社「株式会社エイトコンサルタント」の経営成績ならびに

### 平成20年5月期の当社の中間業績予想、配当予想に関するお知らせ

平成19年6月1日付で当社の完全子会社となりました株式会社エイトコンサルタントの経営成績は以下のとおりであります。また、同日発表しました、株式会社エイトコンサルタントと日本技術開発株式会社との株式移転による共同持株会社「E・Jホールディングス株式会社」設立のお知らせのなかで、当社の平成20年5月期の通期業績予想を公表いたしました。中間業績予想および配当予想につきましては決定しておりませんでした。本日開催の取締役会において、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結子会社の経営成績

##### (1) 株式会社エイトコンサルタントの平成19年5月期の連結業績について

当連結会計年度における建設コンサルタント業界は、政府の構造改革による公共事業費の削減、地方自治体の財政難からの発注量の減少などによる受注競争の激化など依然として厳しい状況が続きました。

このような事業環境のもと、当連結グループは、新規に日本技術開発株式会社を連結子会社に加え、地域密着型を基本に新たな社会ニーズに対応するための更なる技術力の向上、新商品の開発に取組み、市場シェアの拡大を図ると共に、あわせてコスト削減を推進してまいりました。

当連結グループの事業の種類別セグメントの業種は、総合建設コンサルタント事業のみであります。

営業面におきましては、地域密着の技術提案型営業活動を積極的に推進し、受注額の確保、顧客評価の向上、営業基盤の強化に努め、特に重点分野（環境、防災、情報通信、行政支援など）ならびにプロポーザル型業務（技術提案型業務）による受注拡大を図ってまいりました。

重点分野につきましては、環境分野では、土壤汚染調査業務の「病院跡地土壤汚染調査業務」、防災分野では、交通安全対策事業の「防災機能を付加した道の駅整備計画」、東南海・南海地震対策の「津波氾濫シミュレーション業務」、情報通信分野では、AVI (Automatic Vehicle Identification) (車両自動認識) システムによる「道路走行経路調査業務」、行政支援分野では、「町総合計画策定業務」などの業務を受注し、事業領域の拡大を図ってまいりました。特に、AVIに関しては、改良を重ね当社独自の ERTS (Enhanced Road Traffic Specification's System) (交通特性調査分析) として機器の開発、製造をおこない市場拡大を図っております。また、プロポーザル型業務につきましては、連結子会社となった日本技術開発株式会社と共同提案した公募型プロポーザルが特定され受注に繋がるなど順調に拡大し、その受注高は前連結会計年度に比べ33億96百万円増加し48億51百万円（前連結会計年度比333.4%）となりました。

以上のことから、業務受注高は169億38百万円（前連結会計年度比174.4%）、売上高は177億25百万円（前連結会計年度比167.3%）となりました。

利益面につきましては、営業利益は前連結会計年度に比べ2億円増加し3億35百万円（前連結会計年度比249.2%）、経常利益は前連結会計年度に比べ9億88百万円増加し7億54百万円（前連結会計年度は経常損失2億33百万円）となりました。当期純利益は2億83百万円（前連結会計年度は当期純損失13億10百万円）となりました。

なお、当連結会計年度より日本技術開発株式会社は株式会社エイトコンサルタントの連結子会社となりましたが、同社の決算期が6月から5月に変更となったことから、平成18年7月から平成19年5月までの11ヶ月の決算数値を用いて連結しております。

※業績の詳細につきましては、本日、発表いたしました平成19年5月期の決算短信をご参照下さい。

## 2. E・Jホールディングス株式会社の平成20年5月期中間業績予想について

### (1) 連結中間業績予想（平成19年6月1日～平成19年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	4,300 百万円	△1,410 百万円	△1,360 百万円	△1,300 百万円

### (2) 個別中間業績予想（平成19年6月1日～平成19年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	141 百万円	36 百万円	6 百万円	5 百万円

## 3. E・Jホールディングス株式会社の平成20年5月期業績予想について

平成19年6月1日に公表いたしました平成20年5月期の通期業績予想は下記のとおりであり、変更はありません。

### (1) 連結業績予想（平成19年6月1日～平成20年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	18,200 百万円	370 百万円	460 百万円	280 百万円

### (2) 個別業績予想（平成19年6月1日～平成20年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	550 百万円	340 百万円	280 百万円	275 百万円

4. E・Jホールディングス株式会社の平成20年5月期の配当予想について

E・Jホールディングス株式会社の発足により、組織体制および営業基盤の拡充が行われましたが、今後更なる発展を目指すために、利益配分につきましては、中長期展望に基づき新規事業や事業拡大による経営基盤の強化を図り、株主の皆様への長期的な安定した配当を維持し適正な利益配分を行うことが重要と考えております。

従いまして、当社の平成20年5月期の配当につきましては、下記のとおり予定しております。

当社は、持株会社として、今後もあらゆる可能な施策を行っていく予定であり、株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

	1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
配当予想	—	750円	750円

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上